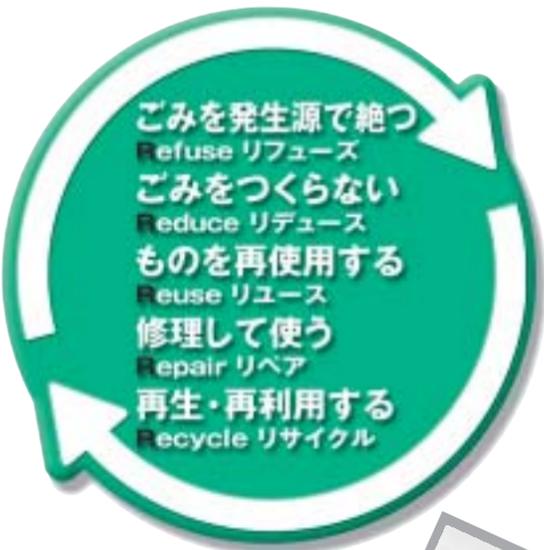


Rあ〜る

かわにし

vol.12

編集・発行 / 川西市美化推進部美化推進室
リサイクル推進課
〒666-0011・川西市出在家町1番11号
☎ / 072(759)4240
ファクス / 072(757)0904



考えよう

地球のためにできること

循環型社会に向けて

私たちは、便利で快適なくらしを追求してきました。しかし、たくさん資源を使って大量にものを作り、使い捨てるという生活をこのまま続けていると、限りある資源を使い尽くすことになり、また、いらなくなつたものを処分することで環境を汚染して地球環境に大きな負荷をかけることとなります。

私たちの日々のくらしから発生するごみの問題は、地球環境や資源の問題に大きくかかわっています。大量生産、大量消費、大量廃棄というくらしを続けてきた今、最終処分場の不足や処理費用の問題など深刻な課題に直面しています。

地球を守っていくためには、これまでの使い捨て社会から、天然資源の消費をできるだけ抑制し、ものを大切に使う環境にやさしい循環型社会に転換していかねばなりません。

「1」みと私たちのくらし

「もったいない」と「もうひとつ」

地球のために、今、私たち一人ひとりができることは何でしょうか。

ノーベル平和賞受賞者でケニア環境副大臣のワンガリ・マタイさんが来日した際に、日本語の「もったいない」という言葉に感銘を受けたという話があります。「もったいない」という言葉の奥には、ものを大切に思う気持ちや作ってくれた人への感謝など、ものが手元に届くまでの様々な積み重ねを失ってしまう事に対する思いが込められています。この考え方は、ごみの減量やリサイクルにつながるものです。

私たちができること

循環型社会の実現のためには、「3R」の推進が重要です。「3R」とは、リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再生利用)のことです。また、兵庫県では、リフューズ(こ

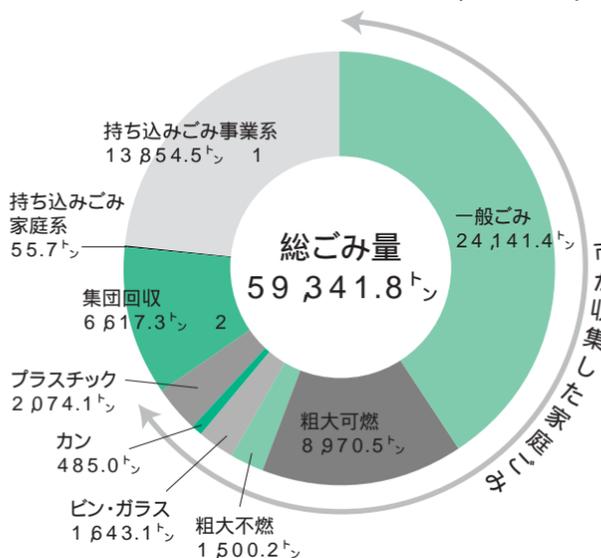
みになるものは受け取らない)、リペア(修理する)の二つを加えて「5R」を掲げて取り組んでいます。最も重要で効果的なのは、ごみの発生をできるだけ抑えることです。そして次に、使えるものは繰り返し使い、最後に再び資源として利用して、どうしても利用できないものは適正に処分されなければなりません。私たち一人ひとりの意識と行動が地球環境を守ることにつながるのです。

ごみの減量にご協力をお願いします!

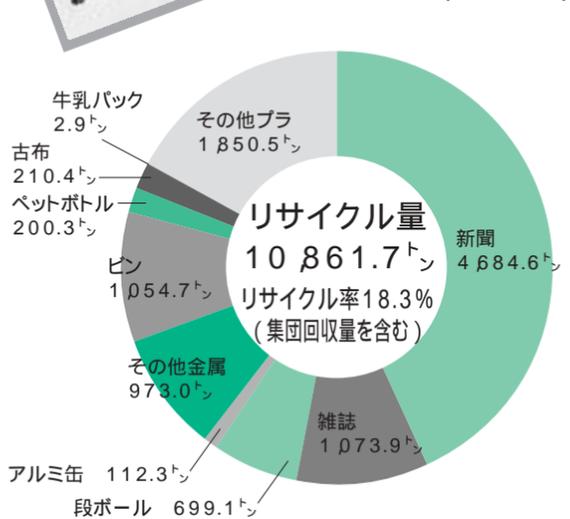
平成16年度
1人1日のごみ排出量 1,011g
リサイクル率 18.3%

平成21年度までの目標値
1人1日のごみ排出量 934g
リサイクル率 25%

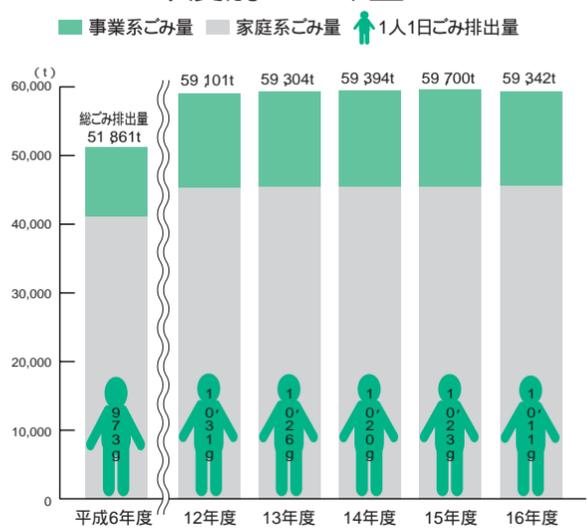
総ごみ排出量 (平成16年度)



リサイクル量 (平成16年度)



年度別のごみ量は...



1 事業系ごみ内訳 (トン)

一般ごみ	11,447.8
粗大可燃	1,980.3
粗大不燃	17.3
ピン・ガラス類	99.2
缶類	108.5
プラスチック類	201.4
計	13,854.5

2 集団回収内訳 (トン)

新聞	4,684.6
雑誌	1,073.9
段ボール	597.6
古布	210.4
アルミ缶	46.5
牛乳パック	2.9
その他	1.4
計	6,617.3

事業系のごみは市で収集しません

事業系のごみは事業者の責任において処理しなければなりません。

「川西市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」

事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければなりません。

処分の方法

○市の許可業者に収集を依頼する場合(有料)
川西市清掃事業協同組合 ☎755-0787
○北部処理センターに直接持ち込む場合(予約制・有料)
川西市北部処理センター ☎794-3500

産業廃棄物は市では処理できないので受け入れできません。

家庭ごみと一緒に出さないで!